



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1282 2021年10月25日

10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止におの一層のご協力をお願いします（詳細はARIB ニュース No.1278 2021年9月27日をご参照ください）。

ARIB からのお知らせ

第184回電波利用懇話会開催のお知らせ 「超低遅延・精密測位・GNSS耐災害性を支える 高精度・分散化時刻基準技術」

第5世代移動通信システム(5G)は、ヒト対モノ、モノ対モノの通信での積極的な利用を想定しており、「超高速・大容量」とともに「超低遅延」、「多数接続」が期待されています。この3つは集中管理から分散管理という方向に対しては正の相関を持ち、基盤システムの分散管理が今後の地上系無線ネットワークの鍵となる可能性があります。また、システムの分散化はトラフィックの減少等を通じて省エネルギー化にも効果を発することが期待されます。

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT) 電磁波研究所 時空標準研究室は、日本標準時(JST)を生成・頒布すると同時に、協定世界時 UTC を世界の国立時刻標準機関と協力して維持しています。JSTは自ら時刻を刻みつつも、UTCの分散化の一翼を担っており、UTCをプロダクトとする一連の時刻管理はシステム分散化の先達ということも出来ます。また、モノとモノの通信ではヒトの時間感覚という軛(くびき)を離れ、時刻精度や時刻管理能力の向上がダイレクトに報われる世界となり、時刻・周波数の専門家が貢献する部分も出てくるかもしれません。

このような視点に立ち、時空標準研究室では、近年地上系無線システムへの貢献を目指し、「時空間同期」というキーワードのもと「近距離無線双方向時刻比較技術(Wi-Wi)」「チップスケール原子時計」「クラスタ時刻管理システム」という3つの研究を推進しており、これらが分散 MIMO, 協調無線電力伝送、精密空間測位、エッジコンピューティング等の次世代先進技術に貢献することが期待されます。

今回の電波利用懇話会では、NICT 電磁波研究所 時空標準研究室 室長 井戸 哲也様を講師にお迎えして、これらの3種の技術の現状及び展望を解説して頂き、また UTC を

世界で共有するための分散化の仕組みについても解説していただきます。
会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 2021 年 11 月 30 日(火) 14 時~15 時
- 2 場所・形態 : オンラインセミナー
- 3 題 名 : 超低遅延・精密測位・GNSS 耐災害性を支える高精度時刻周波数標準技術
- 4 講 師 : 国立研究開発法人 情報通信研究機構 電磁波研究所
電磁波標準研究センター 時空標準研究室 室長 井戸 哲也様
- 5 参 加 者 : 180 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
ARIB正会員、賛助会員のみ申し込みできます。
- 6 申 込 先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費 : 無料
- 8 問 合 せ 先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 岡部 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2021@arib.or.jp

ARIB の動き

ITU-R WP5D 第 39 回会合の概要

1. 会合の概要

WP5D (Working Party 5D : 5D 作業部会) は、ITU-R の SG5 (Study Group 5 : 第 5 研究委員会) の下に設置され、IMT (International Mobile Telecommunications : 移動通信システムの国際標準) に関する検討を行っている専門家会合であり、通常年 3 回程度実施されています。なお、今回第 39 回も新型コロナウイルスの影響により、Web 会議での開催となりました。

日 時 : 2021 年 10 月 4 日 (月) ~10 月 15 日 (金)

場所・形態 : Web 会議

参 加 者 : 各国、各団体から 600 名程度 (日本代表団として総務省 移動通信課 丸橋係長を団長に 22 名が参加。ARIB からは西岡理事、加藤担当部長、佐藤 (拓) 主任研究員が参加)。

2. 主要結果

General Aspects 関連

- ① 将来の無線技術のビジョンやユースケース等をまとめる新勧告草案 ITU-R M.[IMT.VISION 2030 and BEYOND]の作業文書を更新しました。本文書には日本の寄

与文書を含む 11 件の提案があり、概ね全入力寄与文書をそのまま統合の上、一部構成や章タイトルの更新が行われました。本文書の完成は 2023 年 6 月会合を目標としています。

- ② 産業・企業向けの IMT システム利用に関する新報告草案 ITU-R M.[IMT.INDUSTRY] の作業文書を更新しました。本文書の完成は 2022 年 10 月会合を目標としています。
- ③ C-V2X への IMT システムの利用に関する新報告草案 ITU-R M.[IMT.C-V2X] の作業文書を更新しました。日本からは作業文書から新報告草案へ格上げする提案をしましたが、修正箇所が多かったことから作業文書として維持され、次回会合で格上げを目指すこととなりました。

Spectrum Aspects & WRC-23 Preparation 関連

- ① 周波数アレンジメント勧告 ITU-R M.1036 の改定に向け、今回も日本から寄与文書を入力し、残課題の一部は合意され進捗が図られましたが、未合意箇所が残されました。本件は、WRC-23 議題の課題と比較すると優先度が低いため、2022 年 10 月会合まで作業を一時中断することとなりました。
- ② 無線通信規則 21.5 条に関する検討については、寄与文書の説明・質疑に多くの時間を要し、作業文書更新案の審議時間がなく合意されなかったため、関連の寄与文書を次回会合に繰り越すこととしました。
- ③ WRC-23 議題 1.1, 1.2, 1.4 の課題に関しては、それぞれ寄与文書に基づき、共用検討等をまとめた作業文書、CPM テキスト案等が更新され、関連 WP に進捗状況を伝えるリエゾン文書を発出しました。CPM テキスト案は 2022 年 10 月までに完成し、CPM 会合に提出することが求められています。

Technology Aspects 関連

- ① 将来の IMT システム開発に向けた技術開発トレンドをまとめる新報告草案 ITU-R M.[IMT.FUTURE TECHNOLOGY TRENDS] の作業文書を更新しました。本文書には日本の寄与文書を含む 10 件の更新提案があり、今回より章毎にエディタを指名し更新が行われましたが、全入力寄与文書をそのまま統合した形となっており、次回以降、文章レベルの精査、統合作業が本格化する見込みです。本文書の完成は 2022 年 6 月会合を目標としています。
- ② IMT-2020 候補無線インタフェースについて、ETSI/DECT Forum 提案の「DECT 5G-SRIT」及び Nufont 提案の「EUHT-5G」について、8 月の会合後の追加評価結果について各外部評価団体から受領し、これまでの結果から、「DECT 5G-SRIT」は要求条件を満たすとされ、IMT-2020 詳細無線インタフェース勧告 ITU-R M.2150-0 の改定案に含めることとなりました。「EUHT-5G」は評価グループ間で評価が分かれ、WP 5D 議長 の裁定により提案者である Nufont が提案を取り下げることに合意しました。
- ③ IMT-Advanced 詳細無線インタフェース勧告 M.2012-4 について、各標準化団体から標準仕様へのハイパーリンク情報を受領し、文書に反映の上、改定案に合意しました。

3. 次回会合スケジュール

第 40 回会合は当初の計画より 3 営業日延ばされ、2022 年 2 月 7 日～23 日に Web 会議で開催予定です。また、Spectrum Aspects & WRC-23 Preparation 関連に特化した中間会合が 2022 年 4 月 19 日～22 日に開催予定です。

今週の ARIB 内会合（10 月 25 日～10 月 29 日）

10 月 27 日（水）：第 301 回技術委員会（放送分野）	Web 会議併用
10 月 27 日（水）：スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班	Web 会議
10 月 29 日（金）：第 117 回規格会議	

今週の国際会合（10 月 25 日～10 月 29 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

「Beyond 5G 時代に向けた戦略的な知財・標準化、事業化等促進支援プロジェクト」支援対象者の公募（再公募：タイプ C）

【令和 3 年 10 月 18 日発表】

総務省は、中小企業・大学等が保有する 5G 高度化及び Beyond 5G に係る技術の戦略的な知財取得・国際標準化等に向けた取組を支援するため、改めて以下の通り支援対象者の公募を行います。

本事業では、Beyond 5G 技術を「シーズ段階」「実証段階」「知財・標準化活動段階」の 3 つの技術フェーズに分類し、フェーズに応じて知財取得・国際標準化を見据えた支援を行います。本公募期間においては、「タイプ C：標準化活動支援」のみ支援対象者を公募します。

- タイプ C：標準化活動支援（5 団体程度）

Beyond 5G 技術の知財・標準化活動に必要な費用の支援（最大 200 万円）

参加を希望される場合は、受付期間内に専用公募 WEB サイトの申込フォームよりお申し込みください。

- 公募 WEB サイト：<https://beyond5G-support.go.jp/>
- 申込受付期間：令和 3 年 10 月 18 日(月)14 時～令和 3 年 11 月 1 日(月)17 時 厳守

支援の内容や申込みの方法等について、令和3年9月17日(金)にオンラインで説明会を実施しました。アーカイブ視聴を希望される場合は、受付期間内に Web サイトの申込フォームよりお申し込みください。

- 視聴方法：以下のアーカイブ視聴申込フォームよりお申し込みください。
(<https://beyond5g-support.go.jp/archive-entry>)
- 申込受付期間：令和3年10月18日(月)14時～令和3年11月1日(月)17時 厳守

「Beyond 5G 国際カンファレンス 2021」の開催
【令和3年10月20日発表】

総務省は、「Beyond 5G 推進戦略 -6G へのロードマップ-」(令和2年6月)に基づき、Beyond 5G 推進コンソーシアムと共催で、Beyond 5G 推進に向けた産学官の取組の加速化と国際連携の促進を図るため、「Beyond 5G 国際カンファレンス 2021」を開催いたします。

- 日 程 : 令和3年11月9日(火) 13:15～17:30、10日(水) 10:00～18:00
開催方法 : 現地開催及びオンライン開催の併催
場所(会場) : ホテルニューオータニ東京(東京都千代田区紀尾井町4-1) 鶴の間
開催内容・参加方法 : 「Beyond 5G 国際カンファレンス 2021」事務局が設置する以下のウェブサイトをご確認ください。
日本語版ウェブサイト : <http://www.omc.co.jp/beyond5G/index.html>



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp